

事務事業名		田沼福祉コミュニティセンター維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	隣保館
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	田沼福祉コミュニティセンター			
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2024	一般	2	1	13	田沼福祉コミュニティセンター維持管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S62年度～ 年度		根拠法令 条例等	社会福祉法及び施行規則 佐野市隣保館条例及び施行規則		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業	
	任意の事業・義務的の事業		任意の事業								
	実施方法		直営								
事業分類		施設維持管理事業(市主体)									
リーディングプロジェクト		該当なし									
市長マニフェスト		該当なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
名称:佐野市田沼福祉コミュニティセンター 住所:佐野市小見町123-2 電話番号:0283-62-7858 構造:鉄筋コンクリート造り、2階建 建物面積:330.66㎡(事務室、和室、相談室、大小会議室等) 昭和62年4月1日開館 ・常駐職員 館長1名 職員1名 ・臨時嘱託員(生活相談員)2名 常駐職員2名によるコミュニティセンターの維持管理(施設の鍵開閉、設備器具点検修繕、施設清掃、樹木剪定、除草、公用車管理修繕、センター利用申請受付・許可、自動体外式除細動器設置管理)	・田沼福祉コミュニティセンター館内清掃 ・館内清掃(委託)年4回 ・消防施設保守点検(委託)年2回 ・樹木剪定、敷地内及び隣接水路の除草 ・光熱水費の支払い、修繕等の実施と支払い						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	設備等の修繕発生件数	件	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・田沼福祉コミュニティセンター ・市民(施設利用者)	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		
	敷地面積	㎡	990	990	990	990	990

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・利用者が安心して使用できるような環境を保つ。 ・施設の存在目的を理解してもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	来館者数	人	1,632	1,681	1,800	1,800	1,800

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が人権を意識しながら生活する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	人権講演会参加者で、「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した参加者の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	単位											
事業費の内訳	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	1,056	1,408	1,390	1,464	1,390					
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		483								
	事業費計(A)	千円	1,056	1,891	1,390	1,464	1,390					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			需用費	721	需用費	724	需用費	1,010	需用費	1,063	需用費	1,010
			役員費	61	役員費	84	役員費	76	役員費	88	役員費	76
			委託料	222	委託料	228	委託料	228	委託料	228	委託料	228
使用料及び賃借料			46	使用料及び賃借料	53	使用料及び賃借料	76	使用料及び賃借料	76	使用料及び賃借料	76	
負担金、補助金及び交付金			6	備品購入費	795	公課費	9					
公課費	7											
人件費	人	1	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	800	1,850	1,850	1,850	1,850						
人件費計(B)	千円	3,113	7,291	7,291	7,291	7,291						
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,169	9,182	8,681	8,755	8,681						

事務事業名	田沼福祉コミュニティセンター維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	隣保館	担当係	田沼福祉コミュニティセンター
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----------------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国の地域改善対策特別措置法に基づく国庫補助により田沼福祉コミュニティセンターを建設。昭和62年開館以来、地域住民の生活状況を、社会的、経済的、文化的に向上するよう改善を行い、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の早期解決に資するための施設として維持管理してきた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国における同和対策事業は、S44年同和対策特別措置法に始まりH14年まで特別対策事業が実施され、その後、一般対策事業として実施されている。 田沼福祉コミュニティセンターは、開館以来社会福祉法に基づく隣保事業(相談、啓発・広報等)を行う施設として維持管理を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設としての「駐車場」が狭い(足りない)→コミュニティまつりや講演会等の開催時に多くの人を確保するためとして。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	社会福祉法の規定に基づいた隣保事業を実施し、同和問題をはじめとする人権問題等の速やかな解決に資する施設である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	同和問題をはじめ、様々な人権問題の速やかな解決は国及び行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設の存在目的を理解してもらい、同和問題をはじめとする人権問題の解消につなげていく。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	安全・安心して利用できる施設として継続する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 隣保館維持管理事業、葛生隣保事業相談所維持管理事業 各館の独自性を尊重し隣保事業を推進している。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最小限の経費で維持管理している。2名の職員で各種隣保事業を実施している状況であり削減はできない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	隣保館条例に基づく利用料であり適正である。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	同和問題をはじめとする人権問題の解決が図られたと市民に理解されるまで事業を継続する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					